

彩り鮮やか、完熟ミニトマト ミニトマトの収穫体験

指 定障がい福祉サービス事業所の利用者が、6月15日にくみにみ農業ビジネス訓練所でミニトマトの収穫体験を行いました。当日は20人が参加し、ビニールハウス内で真っ赤に熟したミニトマトを袋いっぱい収穫。

採りたてのミニトマトを味見した参加者からは「すごく甘い!」「こんなに真っ赤なミニトマトはお店でも見たことない」などの声が聞かれました。



ビジネス訓練所所長(右)から収穫方法を聞く参加者たち

認知症の理解を深めて

認知症カフェ「くにみまなか出前カフェ」がスタート

地 域の方が気軽に参加できるよう、いきいきサロンで出前カフェがスタートしました。出前カフェでは、お茶を飲みながら気軽に認知症や介護の相談を専門スタッフへ相談できるほか、保健師による認知症のミニ講話や脳トレゲームなどが行われています。今年度は、9月20日に山根地区、10月13日に藤田地区で開催予定。いきいきサロン参加者以外の方でも、その地区に在住の方であれば参加可能です。



専門スタッフと認知症について語る参加者たち

町の農業を守るために 農業委員会が意見書を提出

国 見町農業委員会(渋谷福重会長)は、「農業用生産資材高騰等の対策を求める意見書」と「ひょう被害の対策を求める意見書」を引地真町長へ提出しました。

意見書は、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢による肥料等の農業用生産資材の急騰と、6月上旬に町内で降ったひょうによる農作物への被害対策を求めるため、取りまとめたものです。



意見書を手渡す渋谷会長(中央)と八島会長職務代理者(右)

町の復旧・復興に役立てて 茂木町が国見町応援募金を寄付

災 害時相互応援協定を締結している栃木県茂木町が、茂木町役場や道の駅もてぎなど、町内4か所で国見町応援募金を実施。古口達也茂木町長が、集められた募金を引地真町長へ手渡しました。

茂木町は今年3月に発生した福島県沖地震の直後に、応援職員の派遣やブルーシートなどの緊急対応物資を提供。町の復旧・復興に尽力していただきました。



国見町応援募金を手渡す古口達也茂木町長(左)



藍綬褒章を受章された八巻忠一さん

地域福祉の向上に貢献 春の褒章で藍綬褒章を受章

国 見町民生児童委員協議会会長の八巻忠一さんは、令和4年春の褒章で藍綬褒章を受章しました。

八巻さんは、平成10年から24年の永きにわたり民生・児童委員として地域福祉の向上に尽力。町民生児童委員協議会の会長や、県民生児童委員協議会の理事を務めるなど、社会福祉全般の向上に大きく貢献した功績が認められての受章となりました。



くにみ幼稚園で除草作業を行う社員の皆さん

元気に遊ぶ子どもたちのために アサヒ電子株式会社によるボランティア奉仕作業

伊 達市に本社があるアサヒ電子株式会社は6月4日、社員のボランティア活動の一環として、藤田保育所とくにみ幼稚園の園庭や施設周辺の除草作業を行いました。

参加した約110人の社員の皆さんは、約2時間をかけて除草作業を実施。後日、隅々まで綺麗に除草された園庭では元気に遊ぶ園児たちの姿が見られました。アサヒ電子株式会社の皆さん、ありがとうございました。

花と一緒に思いやりの心を育てましょう 国見小学校で人権の花運動

国 見小学校の整美委員の児童13名が6月16日、人権擁護委員の皆さんと「人権の花運動」に取り組みました。

この運動の目的は、優しい気持ちを持って協力しながら花を育て、思いやりの心を育てること。児童らはマリーゴールドやサルビア、ペゴニアなど色とりどりの花苗をプランターへ丁寧に植えました。後日、育てた花を高齢者施設などへ寄贈する予定です。



ひとつひとつ丁寧にみんなで協力して植えました

今年も福島のももをPRします ミスピーチキャンペーンクルーが来町

2022 ミスピーチキャンペーンクルーが6月20日、国見町役場を訪れ、キャンペーン活動開始のあいさつを行いました。

ミスピーチの皆さんは、「福島のおいしいももはもちろん、魅力ある果物を全国にPRしていきます」と意気込みを語り、引地真町長は、「これまでも町産農作物のPRに力を貸していただいた。今年も一緒に頑張りましょう」と激励しました。



意気込みを語るミスピーチの皆さん